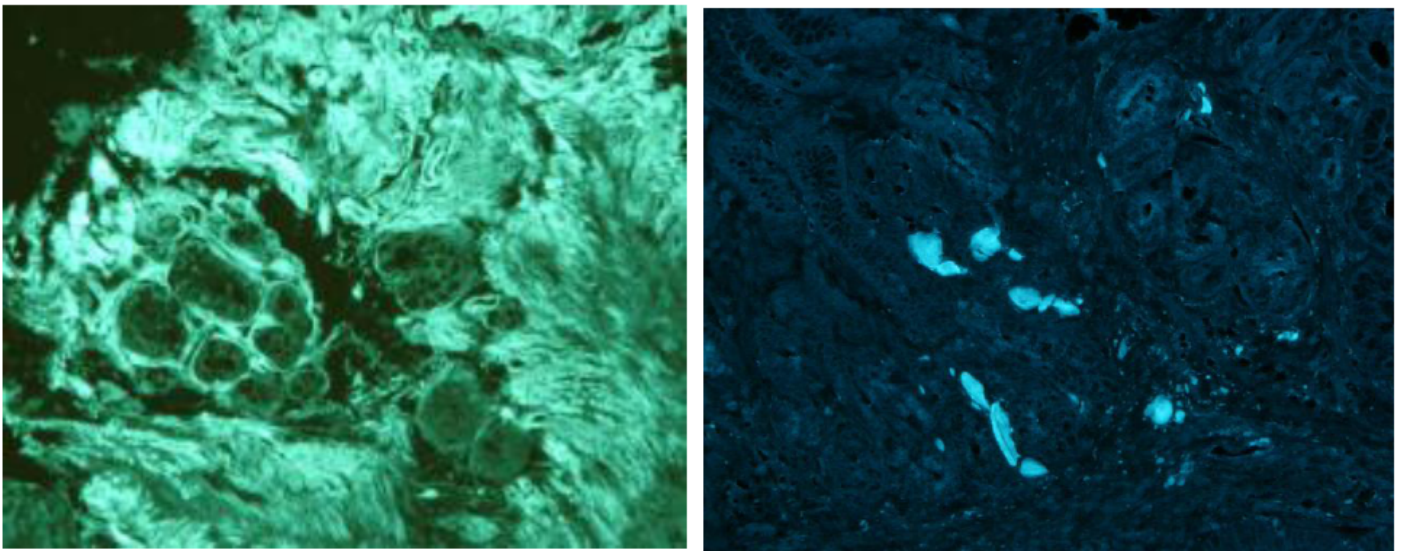


消化管生検標本におけるBF-227染色 を指標としたアミロイドーシス 治療薬の評価

研究分担者: 東北大学 工藤幸司



解 説

1. BF-227はアミロイドーシス患者における病理像としてのアミロイドに結合する。
2. 治療薬投与前の消化管生検標本（左）におけるBF-227染色像。
3. 治療薬投与1年後の消化管生検標本（右）におけるBF-227染色像。
4. 以上、消化管生検標本のBF-227染色によりアミロイド蓄積を半定量化できることから、治療薬の効果を評価することが可能であった。